

平成27年度 新発田・北蒲 保健部 活動報告

部長 佐藤 美香

1 研究主題

児童生徒の「生きる力」を育む学校保健活動の充実を目指して

2 研究の概要

学校保健を基盤としたよりよいアプローチの在り方や養護教諭の専門性を生かした支援について学ぶために、今回は実践発表・伝達講習並びに部員から要望の多い心因性来室者への事例学習会について研修することとした。

3 研究の実際

- 4月 保健部研究計画の検討<第1回研修>

- ・役割分担
- ・事業の決定

- 6月 実践発表・伝達講習会 <第2回研修>

「つながる・かかわり・ひろがるWYSH教育へ」

佐々木小学校 菅原 菊子 先生

「健康相談と事例検討について」

二葉小学校 佐久間 由美子 先生

- 11月 事例学習会 <第3回研修>

「心因性来室者への支援の在り方」(2事例)

指導者 新発田市教育委員会 学校教育課 S S W 江端 三知子 様



4 成果と課題

- (1) 第2回研修では、養護教諭が行う健康教育の実践発表と研修会の伝達講習を行った。どちらの発表からも、児童生徒が「生きる力」を育むために養護教諭の専門性を生かした支援や技能について学ぶことができ、有意義な研修となった。会員からも他校の発表を聞くことで、日々の執務の反省や研鑽への意欲向上に繋がったとの声が寄せられた。
- (2) 第3回研修では、心因性来室者個人記録表から2事例を取り上げて、グループに分かれて問題点について検討し、発表した。その後、S S Wの江端三知子様から、事例の理解と対応のポイントについてご指導いただいた。心因性来室者への対応として、発達課題や校内体制、家庭との連携について検討して支援プランを立てる等、具体的な指導をしていただき、研修を深めることができた。
- (3) 養護教諭は、多様化・深刻化する心因性来室者に対応する機会が多い。また、学校保健活動を推進する上で組織的な活動が多く、校内外での「連携」が重要となっている。今後も健康課題解決のため、専門性を発揮しながら組織での対応や支援方法について、研修を積み重ねていきたい。